

東京人會聚學會志

第十二號 第三卷 第二十二

明治二十年十二月

○記事	埼玉縣橫見郡黒岩村及び北吉見村横穴探査記、下篇	五三
○談話	北吉見村横穴壁面に在る古代彫刻、圖入（坪井正五郎）	五五
	祖模國海陵郡大磯及山西村横穴實見記、圖入	六二
	（坪井正五郎）	六五
	（若林勝邦）	六五
○雜錄	日向大隅古跡古物、圖入	六六
○鬼班記	河内國千塚ヨリ出テアヒ陶枕、圖入	六七
	肥後阿蘇郡手野村塚穴、圖入	七三
	（田中芳男）	七三
	内耳鍋の事に付きて	七四
○瓶ヶ岡土偶圖解、前號石版圖の解	（淡田萬吉）	七五
○雜記、六件	（上田英吉）	七七
	（淡田萬吉）	七七

東京人會聚學會志

思ひ念居りぬ

○瓶ヶ岡土偶圖解（前號卷末ノ圖ヲ見ヨ）

淡 庄

此版ニ載スル所ノ者ハ陸奥弘前ノ會員佐藤部氏カ描キ送
ラレタル瓦偶ノ圖ナリ其第一圖ハ正面ニシテ大サ原形ノ
如シ第二第三ハ背面及ヒ側面ニシテ凡ソ原形三分一ノ縮
圖ナリ下澤氏ノ記文ニ云ク明治二十年五月青森縣下陸奥
國西津輕郡瓶ヶ岡村領ノ中瀬山ト云フ地ヨリ掘得タリ此
物ハ色薄黒ク肺内サツロニシテ其サツロハ肺ノ下ノ方ヨ
リ上ノ方冠ノ中マテ抜ケ通リタリ又鼻及ヒ兩股ノ上ノ方
ニシテ如此穴アリテ是ヨリ肺内ヲ窺ヒ見ルヲ得ル冠ノ左ノ
方先及ヒ右目左脚ハ損シタレトモ他ノ一片ノ全キヲ以テ
其全肺ヲ見ルニ足ル右ハ西津輕郡岡村加藤氏ノ所藏ナ
リ云云

淡庄云我書ヲ瓶ヶ岡發見ノ土偶數種ヲ見タリ孰シモ奇ナ
ラサルハナシ然レトモ最モ奇ニシテ且大ナルハ吐土偶
ニ過クルハナシ義典氏ノ出京スルヤ土偶ノ殘缺
數片ヲ齎セリ始メテ之ヲ見タル時ニハ其何種タルヲ

辨セサリシカ此圖ヲ見ルニ及ヒ方ニ此種ニ屬スルコ
知レリ依テ之ヲ合觀スルニイリコル冠ト胸スル一部ハ
四箇ノ孔アリテ漏空ノ形ヲ爲シ唇ホ香爐ノ蓋ノ如シ顔
部ハ兩眼殊ニ大キク殆ド其全部ヲ占ム且ツ眼中横サマ
ニ二線ヲ畫シタルハ眼リタル姿ニ似タリ其他身肢四支
勝脇シ且四支ノ端ヲ括リタル形アリ宛モゴム人形ニ息
ヲ吹入レタルカ如シ必竟甲冑ヲ着タル姿ナルカ將タ潛
水衣ナルカ抑モ神像鬼形ノ類ナル歟我其何物タルヲ準
擬シ能ハサルナリ義典氏ノ齎セシ中ニ同國ニノ丘郡福
岡縣ノ在方ヨリ出タル者アリ胸部以上ヲ存セル者ナル
カ亦此土偶ト同種ナリ亦以ア古ノ蝦夷人カ弘ク用ヒシ
者ナルコトヲ知ルベシ

雜記

○武藏多摩郡大澤村古穴 予頃日養圃ノ爲近縣逍遙ノ次
武州多摩郡（神奈川縣下）大澤村ノ古穴ヲ訪ヘリ概略左
ノ如シ
近年此古穴ヲ發見シタルハ現今當村ノ築輪安太郎等ナリ
予即安太郎ト談話シ其古穴ヲ誘引セシテ一見セリ